

特別展

二樂荘と大谷探検隊

—シルクロード研究の原点と隊員たちの思い—

2014年10月4日(土)–11月30日(日)

開館時間 午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日 ただし月曜日が祝日の場合は開館、翌火曜日休館、11月25日(火)は開館

[主催] 龍谷大学 龍谷ミュージアム、京都新聞、神戸新聞社 [特別協力] 浄土真宗本願寺派、本山 本願寺

[後援] 京都府教育委員会、京都市教育委員会、神戸市教育委員会、京都市観光協会、兵庫県芸術文化協会、NHK 京都放送局、KBS 京都、サンテレビジョン、ラジオ関西、大谷記念館

龍谷大学

龍谷ミュージアム

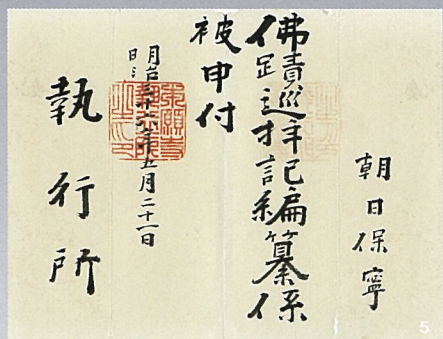
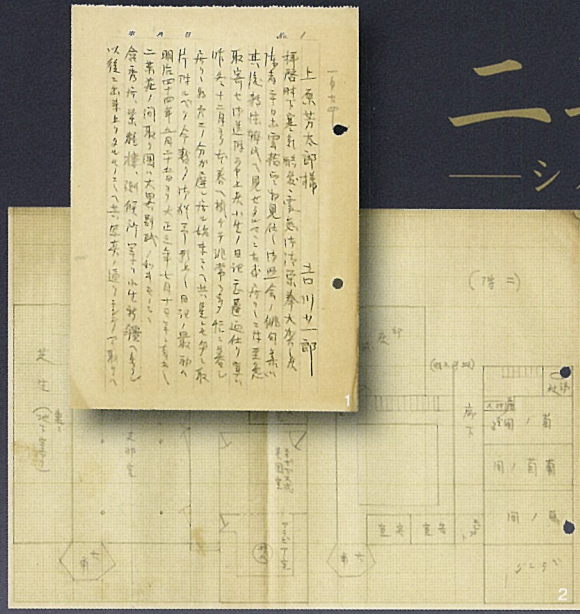
RYUKOKU MUSEUM



特別展

二楽荘と大谷探検隊

—シルクロード研究の原点と隊員たちの思い—



二楽荘は、神戸・六甲山の山麓に明治42年(1909)西本願寺の第22世宗主・大谷光瑞師が建てた別邸です。六甲山麓にひととき目立った二楽荘は、建築家・建築史家である伊東忠太が「本邦無二の珍建築」と評した建物で、日本初と言われるケーブルカーも軌道していました。

二楽荘では、武庫仏教中学や私設の気象観測所が設けられ、マスクメロンの栽培も行われていました。さらに、インド・中央アジア等への仏蹟調査(大谷探検隊)の資料は、隊員たちの手で整理・研究され、公開もされていました。まさに二楽荘は博物館機能を兼ね備えた総合学術研究センターでした。しかし昭和7年(1932)、惜しくも焼失に至りました。

今回の特別展は、大谷探検隊の隊員たちの諸活動にスポットをあて、近年発見された多くの資料を通して、二楽荘の全貌を明らかにします。

1. 吉川小一郎書簡(年代不詳1月24日) 本願寺蔵
 2. 吉川小一郎 製図 二楽荘平面図(年代不詳1月24日) 本願寺蔵
 3. 二楽荘の門柱に使われていた龍の石像品 個人蔵
 4. 二楽荘絵葉書の鉛版 龍谷大学蔵
 5. 「仏蹟巡拝記編纂係」辞令 専勝寺蔵
 6. 伊東忠太が描いた大谷探検隊の行程図(『伊東忠太フィールドノート』37) 日本建築学会建築博物館蔵
表面:上 二楽荘全景『二楽荘写真帖』個人蔵、中 二楽荘本館『建築工芸叢誌』個人蔵
下 大谷探検隊ガラス乾板 龍谷大学蔵
- ※資料の保護のため、一部展示替えがあります。

プレイベント 申込不要

8月 9日(土) ~ 9月7日(日)
 龍谷ミュージアム主催「二楽荘の全貌」写真パネル展
 本願寺神戸別院 1階ピロティ 午前9時~午後5時 入場無料

9月 6日(土) 本願寺神戸別院主催 講座「わが国シルクロード学は神戸で始まった—二楽荘と大谷探検隊—」 入澤 崇(龍谷ミュージアム館長)(申込不要)
 本願寺神戸別院 3階 午後1時30分~3時

※本願寺神戸別院へは神戸高速鉄道 神戸高速線「花隈」駅より徒歩1分

記念講演会 要申込

10月12日(日)「大谷光瑞 その人と思想」 上山大峻(元龍谷大学学長)

11月 2日(日)「大谷光瑞と大谷探検隊 大谷記念館の試み」
 掬月誓成(大谷記念館副館長)

11月 9日(日)「未完の大谷探検隊」 入澤 崇(龍谷ミュージアム館長)

11月23日(日)「展示回想 列品解説とともに」 和田秀寿(龍谷ミュージアム学芸員)

※記念講演会の会場は龍谷大学大宮学舎 午後1時30分~3時

記念シンポジウム 要申込

10月26日(日)「よみがえる本邦無二の珍建築 二楽荘の全貌」
 片山章雄(東海大学文学部教授) 岡田至弘(龍谷大学理工学部教授)
 入澤 崇(龍谷ミュージアム館長) 和田秀寿(龍谷ミュージアム学芸員)

※記念シンポジウムの会場は龍谷大学大宮学舎 午後2時30分~4時

[記念講演会・記念シンポジウムへのお申し込み方法]

展示担当者によるギャラリートーク 申込不要

10月の毎水曜日と10月5日(日)、11月の毎土曜日 いずれも午後1時30分~
 龍谷ミュージアム1階101講義室

※当日の観覧券、申込不要、先着順、人数によっては立見聴講になる可能性があります。



[入館料]
 一般 1,000円(800円)
 高校・大学生 700円(500円)
 小・中学生 300円(200円)
 ※()内は前売り、20名以上の団体料金

※前売り券は、ローソクチケット(Lコード: S9438)、CNプレイガイド、主要なコンビニエンスストア(ファミリーマート、セブンイレブン、サークルKサンクス、ミニストップ)などで8月12日(火)~10月3日(金)に販売。

龍谷大学
 龍谷ミュージアム
 RYUKOKU MUSEUM

申込み・問い合わせ先